

# 文教福祉 常任委員会

## 3学期制（所沢市） 2学期制（羽村市）を調査

# 児童・生徒を第一に考えた検討を



委員長 島田 榮一 委員 月田 均  
副委員長 三友美恵子 柳沢 浩一  
宇津木 治宣

所管事務調査日：平成28年5月17日



学期制について調査



新たな3学期制の説明を受ける（所沢市）



小中一貫教育を生かした2学期制（羽村市）

### ●市長の選挙公約で新たな3学期制に移行した所沢市

所沢市は市長の選挙公約を踏まえて、10年間実施してきた2学期制の良さを生かした「新たな3学期制」へと、3年間の期間をかけて平成27年度に移行した。  
2学期制の良さを十分尊重しつつ、各小学校が主体性を持って取り組んでいるとのことであった。

### ●小中一貫教育の特色を出し、2学期制を継続している羽村市

羽村市は、平成16年度から全小中学校で2学期制を導入、平成23年度から小中一貫教育を導入し、不登校生徒出現率の低下や、学力・体力の向上といった成果を上げている。  
「新たな3学期制」への意見もあるが、現在も2学期制を継続している。

### まとめ

今回の所管事務調査で感じたことは、それぞれの自治体が教育に関して、並々ならぬ情熱と創意工夫をこらして取り組んでいる姿であった。学習指導要領の改訂等、時として国や県、他市町村の影響を受ける実態もあるかと思うが、政治に翻弄されることなく、独自性を持った教育が求められているように感じた。当町においてもいろいろ意見があるかと思うが、「子どもや生徒のために」という原点に立って、これからの問題に対処してほしいと期待するものである。

# 経済建設 常任委員会

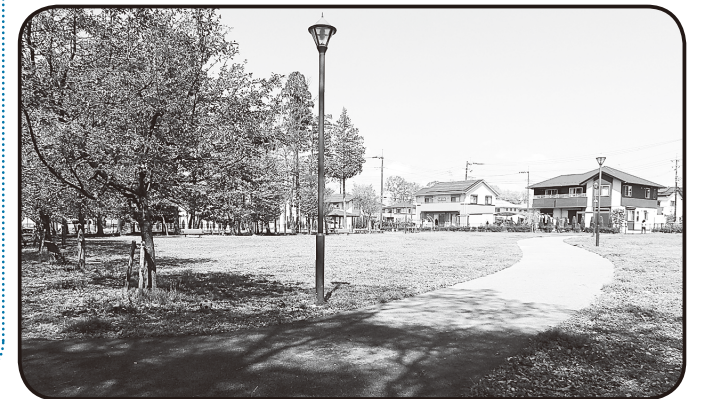
## 大規模な住宅開発を調査

# 民間企業のノウハウを活用した町づくりに期待



委員長 石内 國雄 委員 渡辺 俊彦  
副委員長 町田 宗宏 浅見 武志  
筑井 あけみ

所管事務調査日：平成28年4月20日



緑と調和した住環境



町並みを現地で確認



誘致した路線バス

### ●みずほの緑の郷

（588区画の大規模分譲地）

この分譲地は、現在町が進めている文化センター周辺土地画整理事業において、住宅建設と販売を請け負ったトヨタウッドユーホーム（株）が山林を開発したもので、「人と自然、人と人が気持ちよく、ぎょうせいする『森生活』をライフスタイル」をコンセプトで開発されていた。  
このみずほの緑の郷では、分譲地内に広い道路・広い歩道が確保されていた。また、スーパーマーケットや路線バスの乗り入れの誘致も図られており、保育園・学校も近くに確保されていた。

### ●トヨタ

ウッドユーホーム（株）  
宇都宮西工場

ツリーバイフォー工法・パネル工場。  
東京ドーム同程度の敷地での建築部材の生産拠点。  
「トヨタ生産方式」による品質管理・工場見学を取り入れた「魅せる工場」で、顧客に合わせたオンリーワン住宅の生産を行っていた。

### まとめ

民間企業での開発は、開発コンセプトが明確であり、住宅を建てるだけでなく、そこに住む人々のニーズをとらえ、総合的な環境づくりを行うなど、細かさを感じられた。  
玉村町における文化センター周辺の住宅開発においても、それらの経験を生かし、地域コミュニティを重視した町づくりが期待される。  
また、今後開発や新たな事業を行う際には、事業費の削減や事業の迅速化を図るためにも、当初計画から民間企業のノウハウや総合的な企画運営力を大いに活用する必要があると思われる。